

1. 業務の目的

- ◇ 奥州市が管理する46都市公園は、令和4(2022)年度の時点で、供用開始から30年以上が経過した公園が約6割を占めており、計画的な維持管理が重要な課題となっています。
- ◇ 市は、平成25(2013)年度に、安全・安心な公園施設の利用、効果的な維持管理や保全・改修計画を策定するため、奥州市公園長寿命化計画を策定しました。
- ◇ 従前の計画策定から10年が経過し、公園施設の劣化状況や公園を取り巻く環境等が大きく変化しており、また、計画の見直し時期を迎えていることから、同計画の見直しを行いました。

2. 長寿命計画策定期間

長寿命化計画の策定計画期間：令和6(2024)年度から令和15(2033)年度の10年間

3. 対象公園

【種別別箇所数】

街区	近隣	地区	総合	運動	緑地	墓園	合計
35	5	1	2	1	1	1	46

【地区別箇所数】

面積	設置箇所数			
	水沢地区	江刺地区	前沢地区	合計
101.33ha	27	11	8	46

【都市公園一覧】

地区	番号	公園種別	公園名	開設年	面積 (㎡)	主な公園施設
水沢	1	総合公園	水 沢 公 園	昭和46年	111,000	噴水、四阿、トイレ、遊具等
	2	近隣公園	大 鐘 公 園	昭和58年	16,000	人道橋、四阿、トイレ、遊具等
	3		慶 徳 公 園	平成6年	11,000	噴水、四阿、トイレ、遊具等
	4		堀 ノ 内 公 園	平成15年	20,000	人道橋、四阿、トイレ、遊具等
	5		街区公園	睦 公 園	昭和46年	4,000
	6	高 台 公 園		昭和46年	3,800	トイレ、照明灯、遊具等
	7	水 ノ 口 前 公 園		昭和50年	2,000	照明灯、遊具等
	8	北 野 公 園		昭和50年	1,800	パーゴラ、照明灯、遊具等
	9	真 城 が 丘 東 公 園		昭和50年	3,700	藤棚、トイレ、照明灯、遊具等
	10	真 城 が 丘 西 公 園		昭和50年	2,200	四阿、トイレ、照明灯、遊具等
	11	秋 葉 公 園		昭和55年	3,000	藤棚、トイレ、照明灯、遊具等
	12	泉 公 園		昭和55年	3,900	藤棚、トイレ、照明灯、遊具等
	13	太 日 通 り 東 公 園		昭和57年	1,900	藤棚、トイレ、照明灯、遊具等
	14	久 保 公 園		昭和59年	3,900	トイレ、照明灯、遊具等
	15	向 畑 公 園	昭和60年	3,600	トイレ、照明灯、遊具等	

地区	番号	公園種別	公園名	開設年	面積 (㎡)	主な公園施設
水沢	16	街区公園	谷地明円公園	平成5年	1,900	トイレ、照明灯、遊具等
	17		太日通り西公園	平成7年	2,100	四阿、トイレ、照明灯、遊具等
	18		マイアネタウン中央公園	平成10年	3,800	四阿、トイレ、照明灯、遊具等
	19		マイアネタウン東公園	平成11年	2,100	四阿、トイレ、遊具等
	20		林前公園	昭和60年	1,200	トイレ、照明灯、遊具等
	21		東高山公園	昭和60年	2,100	藤棚、トイレ、照明灯、遊具等
	22		桜屋敷南公園	平成8年	1,200	トイレ、照明灯、遊具等
	23		桜屋敷東公園	平成9年	1,300	シェルター、トイレ、遊具等
	24		桜屋敷西公園	平成18年	1,900	木橋、四阿、トイレ、照明灯等
	25		西姉体公園	平成23年	2,700	トイレ、フランク、鉄棒、遊具等
	26	緑地	藤橋緑地	昭和58年	72,000	水飲み場
	27	墓園	見分森墓園	昭和48年	147,000	四阿、トイレ、展望台、遊具等
	江刺	28	街区公園	大通り公園	昭和57年	8,400
29		下川原公園		昭和57年	2,300	トイレ、照明灯、遊具等
30		前中野公園		昭和57年	2,300	藤棚、トイレ、照明灯、遊具等
31		栄町公園		昭和54年	3,100	パーゴラ、照明灯、遊具等
32		八日市公園		昭和56年	4,500	水飲み場、遊具等
33		下惣田公園		平成14年	2,000	四阿、照明灯、遊具等
36		向山西公園		昭和57年	1,100	藤棚、遊具等
34		近隣公園	根岸公園	昭和57年	33,000	照明灯、遊具等
35		地区公園	下惣田ふれあい公園	平成17年	34,000	四阿、照明灯、遊具等
37		総合公園	向山公園(えさし藤原の郷)	昭和57年	350,000	四阿、トイレ、照明灯、遊具等
38	運動公園	江刺中央運動公園	昭和59年	102,000	インターロッキングブロック等	
前沢	39	近隣公園	お物見公園	昭和54年	20,800	藤棚、トイレ、照明灯、遊具等
	40	街区公園	塔ヶ崎児童公園	平成3年	2,900	四阿、トイレ、照明灯、遊具等
	41		アスティ南公園	平成10年	2,500	トイレ、照明灯
	42		アスティ中央公園	平成11年	2,900	パーゴラ、トイレ、照明灯、遊具等
	43		烏待小屋公園	平成11年	2,100	四阿、トイレ、照明灯、遊具等
	44		栗ヶ島公園	平成11年	3,700	トイレ、照明灯、遊具等
	45		あすか北公園	平成24年	2,500	四阿、トイレ、照明灯、遊具等
	46		あすか南公園	平成24年	2,100	四阿、トイレ、照明灯、遊具等

4. 予防保全型管理と事後保全型管理

- ◇ 予防保全型管理：施設の劣化や損傷の進行を未然に防止し、長持ちさせることを目的に、計画的な手入れを行うよう管理する方法です。
- ◇ 事後保全型管理：施設の日常的な維持管理を行い、施設の機能が果たせなくなった段階で取り換えるよう管理する方法です。

出典：公園施設長寿命化計画策定指針(案)【改訂版】

5. 健全度調査

予防保全型管理を行う施設について、より詳しく施設の構造物材及び消耗材等の劣化や損傷の状況を確認するため、健全度調査・健全度判定を行います。

4割近くの施設が判定「C・D」で、修繕等が必要との結果となりました。

表 健全度判定結果

健全度判定	数量	%
A	56	10.1%
B	290	52.4%
C	153	27.7%
D	54	9.8%
合計	553	100.0%

※健全度：A>B>C>D

健全度判定結果

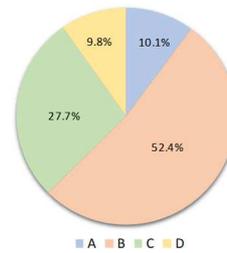


図 健全度判定結果

6. 公園施設の長寿命化のための基本方針

比較的健全であると判定された施設については、塗装等の補修により、健全度を回復させることを更新見込年度までに数回実施し、更新見込年度を迎えた後は原則として計画期間内に施設を更新することとします。

健全度調査の結果、修繕等を必要とする施設が一度に多く発生している場合は、そのすべてを短期間で施工するには限界があることから、対応における優先順位を決定する基準（3つの指標：「施設別健全度評価」、「公園重要度評価」、「施設別重要度評価」の組み合わせ）により施設毎に点数評価をしたうえで、平準化をはかることとします。

加えて、それぞれの公園の改修イメージを地域と共有することが重要であると考え、公園ごとの長寿命化に向けた「公園重要度の判定・評価」により公園の改修にも努めます。

7. 公園重要度の判定・評価

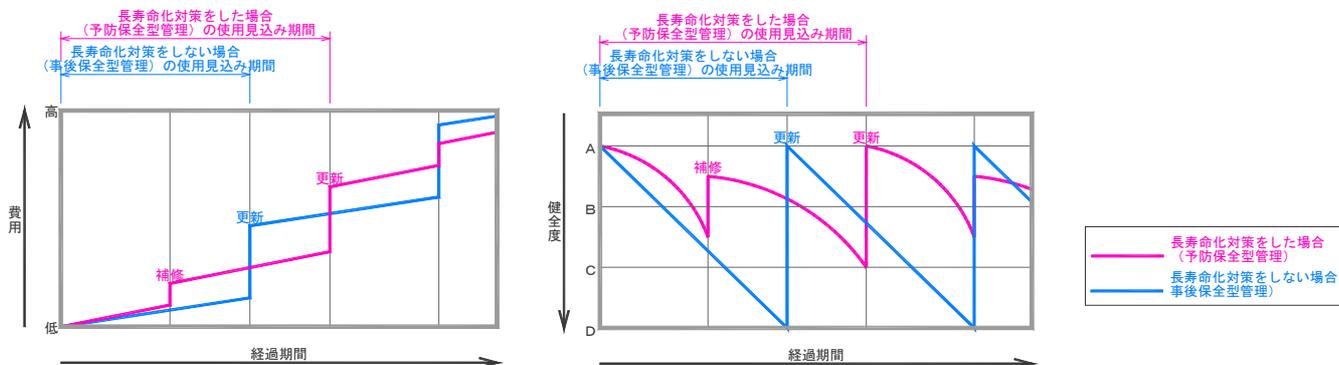
公園毎に、以下の配点表を基に採点を行いました。

No	大分類	配点	種別	重要度	指標	各配点	No	大分類	配点	種別	重要度	指標	各配点					
1	基本情報	62	公園規模	5	総合公園、運動公園、地区公園、特殊公園(見分森墓園)	5	19	基本情報	62	施設状況・利便性	2	周辺に「地域の集会所(地区センターや自治会館等)」がある(※周辺とは「街区公園の誘致距離：250mとする」)	2					
				4	近隣公園	4	20				2	周辺に「飲食物(調理・加工品等)のテイクアウトが可能なお店」がある(※周辺とは「街区公園の誘致距離：250mとする」)	2					
				3	街区公園(0.2ha以上)	3	21				3	歴史・文化性、自然性、象徴性、特殊性等、その公園独自の価値が認められる	3					
				2	街区公園(0.1~0.19ha以上)	2	22				3	設置年度	40年以上	2				
2	基本情報	62	周辺人口	1	街区公園(0.1ha未満)、緑地	1	22	基本情報	62	特質性	2	設置年度	20年以上40年未満	1				
				5	誘致圏内人口(※都市基幹公園(総合公園、運動公園)や特殊公園(見分森墓園)等については、「地区公園の誘致距離」を参考に算出する)	2,000人以上	5				1	20年未満	0					
				4	1,000~1,999人	4	23				2	経年のうちに再編が加えられた公園である	2					
				3	600~999人	3	24				防災	指定緊急避難場所になっている	2					
				2	400~599人	2	25					防火設備(消火栓、防火水槽等)を備える	2					
1	400人未満	1	26	2	災害リスク(浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内等)がない	2												
3	基本情報	62	施設状況・利便性	人口集中地区(DID)内にある公園である		5	27	管理・運用	38	利用度・関心度	災害リスク(浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内等)がない		2					
誘致圏内にJRの駅がある				2	28	3	舌情・要望等、利用者の声が複数寄せられた経過がある(※愛着や評判等、良い評価を含む)				3							
占有物件がある				2	29	3	使用許可申請(行先許可等)がある				3							
施設設置管理許可物件がある				2	30	3	誘致圏外等、圏域を超える者の利用やコースがあると認められる				3							
有料公園施設を備える				2	30	3	3				自治体や利用団体が積極的に関わる公園	5						
駐車場を備える				2	31	2	2				施設の維持・管理	4						
公衆トイレを備える				2	31	1	1				地域の活動が行われている公園	2						
夜間照明施設を備える				2	32	管理手法					民間事業者等への施設等管理委託又は指定管理者制度の導入がある	2						
案内板を備える				2	32	環境保全・美化推進					2	清掃の状況	毎日実施	4				
休憩施設(ベンチ除く)を備える				2	33	異常確認					1	定期実施	2					
遊具を備える				2	33	2					巡回の状況	管理人等の常駐	4					
便益施設等(水飲み・時計)を備える				2	34	1					巡回の状況	定期巡回	2					
運動施設や多目的施設(会議室やホール等、居住性のある施設)、教養施設を備える				2	35	治安・秩序					犯罪やいたずら行為等の発生経過(又は、発生が危惧されるリスクや要因)がない	3						
バリアフリーに配慮された施設がある				2	36	2					市の政策を反映させた経過がある	5						
周辺に「教育施設(幼稚園や学校等)」がある(※周辺とは「街区公園の誘致距離：250mとする」)				2	37	2					目的を喪失している施設や箇所等があり、対応が必要である(※例：遊休地、閉鎖施設の放置等)	3						
周辺に「福祉関連施設(保育所、老健施設等)や医療施設」がある(※周辺とは「街区公園の誘致距離：250mとする」)				2	37	2					周辺に類似機能を有する公園がなく、利用頻度が高いと推測される	3						
						合計									100			

8. 公園施設長寿命化計画による効果

長寿命化計画により、予防保全型管理を行うことで、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減に繋がります。

ライフサイクルコストは、費用を縮減（最小化）し、最適な補修または更新のシナリオを見極めるために検討します。



出典：公園施設長寿命化計画策定指針（案）【改訂版】

ライフサイクルコストの縮減額は、長寿命化対策をしない（事後保全型管理）場合の費用から、長寿命化対策をする（予防保全型管理）場合の費用を引いた費用となります。

奥州市全体での縮減額は、1年間で約400万円となります。

表 単年度あたりのLCC縮減額（単位：千円）

地区	単年度あたりライフサイクルコスト		
	長寿命化対策をしない場合	長寿命化対策をする場合	縮減額総額
水沢地区	47,589	44,547	3,042
江刺地区	17,289	16,661	628
前沢地区	9,283	8,960	323
全体	74,161	70,168	3,993

※上記金額は、今後展開される長寿命化対策費（事業費）とは異なります。

9. 年次計画

計画期間の10年間の公園管理は、年次計画により実施します。当初の計画では、予算が集中することになるので、予算の平準化を行います。

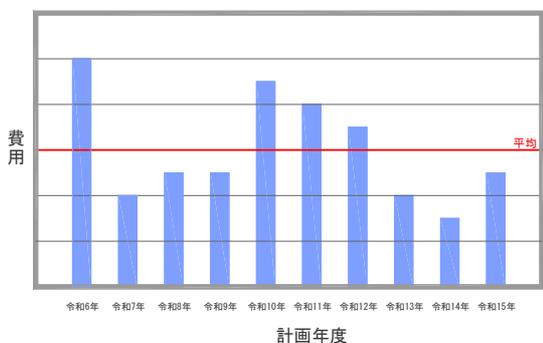


図 平準化前年次計画イメージ図

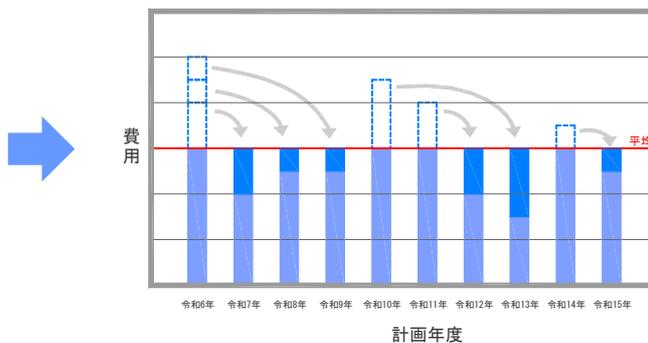


図 平準化後年次計画イメージ図

計画策定担当課
奥州市 都市整備部 都市計画課 公園緑地係